

授業支援ボックス活用事例

～紙のレポートをスキャンしてLMSでフィードバック～

2017年4月より、紙で提出された答案やレポートを電子ファイルにして、LMSから学生へ返却できる「授業支援ボックス」を宇都宮キャンパスに導入しました。

採点済みの答案やレポート用紙などの紙文書をスキャンすることで、成績転記と文書の電子ファイル化を自動的に実行します。これにより、学生の答案や点数をLMSに保存したり、次の授業時を待たずに学生にフィードバックすることが可能になりました。

11月のセミナーでは、LT開発室から授業支援ボックスの概要と使い方を説明したのち、授業支援ボックスを活用されている先生方から授業実践事例をお話いただきます。ご興味をお持ちの方はぜひご参加下さい。

日時

2017年11月30日(木)

15:00～16:30

会場

帝京大学宇都宮キャンパス
本部棟2号館101教室

受講対象

帝京大学に属する教職員

プログラム

- ・授業支援ボックスの概要と使い方
- ・活用事例紹介

- 石川 朝子 講師(宇都宮キャンパス総合基礎科目)
- 塚原 健太 講師(宇都宮キャンパス総合基礎科目)
- 渡辺 博芳 教授(理工学部情報電子工学科)

